

# 平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00410)

事務事業名称 水辺環境の整備			款 05	項 03	目 03	事業 002	整理番号 429					
現担当課名 土木計画課		係名 施設整備係		連絡先電話番号 3428		昨年度整理番号 410						
上位施策No・施策名 08 水とみどりのネットワークの形成						予算事業区分 投資事業						
事業開始 平成13年度		実行計画事業 目標 03 施策 08 計画事業 01										
平成26年度担当課名 土木計画課						事業評価区分 一般						
対象		区内3河川(神田川・善福寺川・妙正寺川)沿川の居住者及び利用者等		根拠法令等 (1) (2)		地方自治法第281条2項 河川法第16条の2						
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)		水鳥一斉調査(20年度からの累計) シンポジウム開催(20年度からの累計)							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明		みどりや水(河川等)とのふれあいを実感している区民の割合 区民意向調査による							
	潤いと安らぎのある水辺環境の再生・創出を図るため、善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業行動方針に基づき事業を進める。 東京都が実施している河川整備において、協議や調整等を図りながら自然環境や景観に配慮した整備を連携して進める。											
区分		単位	平成24年度 実績	平成25年度 計画 実績		平成26年度 計画(目標値) 実績		平成27年度 計画	平成26年度 対計画比(%)			
指標	活動指標(1)		1	回	5	6	6	7	7	8	100.0	
	活動指標(2)		2	回	5	6	6	7	7	8	100.0	
	成果指標(1)		3	%	70.7	73	73.3	74	74.3	75	100.4	
	成果指標(2)		4									
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	1,683	2,506	1,953	8,549	6,093	17,765	平成26年度 予算執行率(%) 71.3	
	(内)投資的経費等		6	千円	1,683	2,506	1,953	8,549	6,093	17,765	特記事項 善福寺川護岸調査委託の落札差金等により執行率が低くなっています。	
	(内)委託費		7	千円	995	1,740	1,230	7,789	5,684	17,005		
	職員数	常勤職員数		8	人	1.36	0.70	0.73	0.90	1.25		1.60
		再任用職員数		9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数		10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分		11	千円	11,832	6,041	6,300	7,929	11,013		14,096
		再任用職員分		12	千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分		13	千円	0	0	0	0	0		0
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	13,515	8,547	8,253	16,478	17,106	31,861		
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	2,366,400	1,006,833	1,050,000	1,132,714	1,573,286	1,762,000		
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源(14-20)		21	千円	13,515	8,547	8,253	16,478	17,106	31,861			
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号		429	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		善福寺川護岸調査委託	1	件	5,184
		水鳥の棲む水辺創出事業支援業務委託	1	件	497
		水鳥一斉調査と善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業シンポジウム謝礼金	2	件	166
		その他（事務費 ほか）			246
平成26年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>善福寺川護岸の変状について調査委託を実施しました。                  善福寺川で見られる鳥の生息状況を把握するため区民参加による水鳥一斉調査を実施しました。また、事業の周知と区民意見を把握するためシンポジウムを開催しました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>親水性のある散歩道整備等を目的として立ち上げられた事業ですが、現在、区では河川などの大規模な改修は少なく、河川をより身近なものとして感じられる施設（流域案内板設置など）の整備や日常の維持管理を進めています。                  また、東京都は神田川流域河川整備計画に基づき河川整備を進めており、都施工による善福寺川整備事業と連携して整備を進めてきた親水護岸（区立済美公園の一部を利用）の整備が完了し、安全に配慮した管理を行っています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>河川の水害対策に関する意見が多く寄せられる一方、河川は治水・利水の役割だけでなく、貴重な水とみどりの空間として区民に潤いや安らぎを与えるとともに、多様な動植物の生息・生育・繁殖環境を形成するものとして、その役割は大きく見直されてきています。                  豊かな自然資源である水とみどりを大切にしたいとする区民意識の高揚を考慮しつつ、水辺を取り巻く良好な環境づくりを積極的に推進することが期待されています。</p>			
	今後の予測	<p>水辺は貴重な水とみどりの空間として区民に潤いや安らぎを与えるとともに、まちの景観形成や余暇の有効活用等において、重要な役割を果たしています。特に近年では、まちづくりの観点から周辺の公共施設を取り込んだ、一体的な水辺環境整備が社会的な要請となりつつあります。東京都の河川整備事業との連携も図りながら、区民と一体となって水辺空間の整備を進めることが必要です。</p>			
評価と課題		<p>区内の3河川は区民の貴重な財産であり、都と連携した河川整備を進め、区民に親しまれる安全で魅力的な水辺環境の創出に努めてきました。区民とともに多様な動植物が生息・生育・繁殖できる水辺環境の再生・創出を進めるため、善福寺川において、例年行っている水鳥一斉調査や善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業シンポジウムを継続的な取り組みとして実施していきます。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
今後の進め方	<p>まちづくりの観点から周辺の公共施設を取り込んだ、一体的な水辺環境整備が社会的な要請となってきました。水辺環境整備に向け、地域住民を巻き込んだソフト事業を継続的に展開するとともに、東京都をはじめとした関係機関の事業との連携による、水辺環境再生を視野に入れたハード整備の実現に向け引き続き取り組みます。また、近い将来訪れる護岸や親水施設等の維持管理・更新などの老朽化によるコスト増を抑えるため、延命化対策の検討に必要な現状の調査を行っていきます。</p>				

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00423 ）

事務事業名称		公園の維持管理				款	05	項	04	目	01	事業	001	整理番号	442	
現担当課名		みどり公園課		係名	公園整備係			連絡先電話番号		3583		昨年度整理番号	423			
上位施策No・施策名										08 水とみどりのネットワークの形成		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始															
	平成26年度担当課名	みどり公園課										事業評価区分	施設維持管理			
	対象	区立公園322園 公園利用者			根拠法令等	(1) 都市公園法 (2) 杉並区公園条例										
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	区民が安全で快適に利用できる公園にする。			活動指標	指標名(1) 区立公園管理面積 指標名(2) 区民要望件数										
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	施設の保守点検・補修、園地清掃、樹木管理等の公園維持管理を行う。			成果指標	指標名(1) 指標名(2)										
区分		単位	平成24年度実績	平成25年度計画		平成26年度計画(目標値)		平成26年度実績		平成27年度計画	平成26年度対計画比(%)					
指標	活動指標(1)	1	m <sup>2</sup>	607,487	613,850	612,458	616,875	614,462	621,452	99.6						
	活動指標(2)	2	件	1,201	0	1,262	0	1,173	0	0.0						
	成果指標(1)	3														
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	557,082	593,000	587,441	702,283	691,599	739,441	平成26年度予算執行率(%)	98.5					
	(内) 投資的経費等	6	千円	24,227	32,409	29,956	40,366	37,788	0	特記事項						
	(内) 委託費	7	千円	478,645	504,876	501,049	598,468	592,185	637,312	・平成26年12月1日付で阿佐谷南児童遊園を廃止しました。 ・(仮称)荻外荘公園は、遊び場108番として暫定開放したため、公園面積には含んでいません。						
	職員数	常勤職員数	8	人	23.05	17.70	18.85	14.00	14.73	13.70						
		再任用職員数	9	人	32.99	32.70	32.73	39.03	39.05	31.76						
		非常勤職員数	10	人	20.11	21.28	21.18	13.19	13.19	17.60						
	人件費	常勤職員分	11	千円	200,535	152,751	162,676	123,340	129,771	120,697						
		再任用職員分	12	千円	129,651	126,222	126,338	158,072	158,153	128,628						
		非常勤職員分	13	千円	55,303	59,158	58,880	37,328	37,328	49,808						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	942,571	931,131	935,335	1,021,023	1,016,851	1,038,574							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	1,512	1,464	1,478	1,590	1,593	1,671							
	財源	受益者負担分	16	千円	11,706	10,246	10,212	10,361	10,456	10,310						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	11,706	10,246	10,212	10,361	10,456	10,310							
差引：一般財源(14-20)		21	千円	930,865	920,885	925,123	1,010,662	1,006,395	1,028,264							
受益者負担比率(16÷14)		22	%	1.2	1.1	1.1	1.0	1.0	1.0							

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	442
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		園地清掃業務委託	614,413	m <sup>2</sup>	206,047
		樹木、花壇、除草等管理委託	614,413	m <sup>2</sup>	176,665
		流れ、防災設備等保守点検委託	45	園	74,544
		遊具等公園施設補修	322	園	73,978
		その他（その他の園地維持管理費）			160,365
	(2) 事業実績	維持管理業務を一括して委任した桃井原っぱ公園と指定管理者制度による大田黒公園を除いた320園の園地清掃委託等による公園維持管理を実施しました。 遊具や園灯など公園施設の補修工事を行い、公園利用者の安全性と利便性の向上に努めました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
	評価と課題	開園してから30年以上経過しながら、ほとんど手を加えられていない公園が3分の1程度あり、老朽化が進むとともに安全性の低下が懸念されており、そのための対策が必要となっています。 一方、公園緑地事務所の職員体制が維持できないことから、日常の安全点検や要望に迅速に対応できる体制づくりが求められており、検討を進めてきました。抜本的な対策として、26年度から公園緑地事務所の職員配置の見直しと、新たに日常保全業務委託を導入し、迅速な要望対応と遊具の安全点検を含めた施設の安全性の確保を行っています。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
		II 事業の改善の方向性			
	今後の進め方				

# 平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00424)

事務事業名称		公園事業				款	05	項	04	目	01	事業	002	整理番号	443						
現担当課名		みどり公園課		係名		公園利用担当		連絡先電話番号		3587		昨年度整理番号		424							
上位施策No・施策名										08 水とみどりのネットワークの形成		予算事業区分		既定事業							
事業開始		平成12年度		実行計画事業		目標		03		施策		08		計画事業		08					
平成26年度担当課名		みどり公園課										事業評価区分		一般							
事務事業の概要	対象		公園利用者 公園ボランティア団体				根拠法令等		(1)		都市公園法		(2)				杉並区公園条例				
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		安全安心に利用できる公園が増え、苦情要望が減少する。 地域住民ボランティアによる公園管理が増加する。				活動指標		指標名(1)		公園ボランティア団体数		指標説明		夜間警備車両台数						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		公園利用調整：公園占用許可の調整や受付を行う。 また、占有者と一般利用者や近隣への安全対策などの調整打合せを行う。 公園利用指導：不適切な公園利用に対し、職員や夜間安全パトロールによる適正利用指導を行う。 公園ボランティア活動支援：公園内の管理活動に携わる団体に対して必要な資材などを提供し活動の支援を行う。				成果指標		指標名(1)		占用申請利用件数		指標説明		指標名(2)				要望件数÷公園数		
															指標説明				児童遊園、遊び場含む		
区分		単位		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成26年度									
				実績		計画		実績		計画(目標値)		実績		計画		対計画比(%)					
指標	活動指標(1)		1 団体		163		180		169		176		172		179		97.7				
	活動指標(2)		2 台		1,226		1,226		1,226		1,226		1,226		1,226		100.0				
	成果指標(1)		3 件		861		900		897		900		1,075		1,200		119.4				
	成果指標(2)		4 件		5		4		4		3		3		3		100.0				
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円		57,125		58,535		56,725		59,624		58,812		60,029		平成26年度 予算執行率(%)		98.6		
	(内)投資的経費等		6 千円		0		0		0		0		0		0				特記事項		
	(内)委託費		7 千円		45,822		46,357		45,985		47,936		47,872		47,522				受益者負担分は公園における撮影及びロケーションによる占用料で、平成26年度での占用申請が増加しました。		
	職員数	常勤職員数		8 人		4.11		4.00		4.19		3.30		3.38		3.30					
		再任用職員数		9 人		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00					
		非常勤職員数		10 人		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00					
	人件費	常勤職員分		11 千円		35,757		34,520		36,160		29,073		29,778		29,073					
		再任用職員分		12 千円		0		0		0		0		0		0					
		非常勤職員分		13 千円		0		0		0		0		0		0					
	総事業費(5+11+12+13)		14 千円		92,882		93,055		92,885		88,697		88,590		89,102						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15 円		569,828		516,972		549,615		503,960		515,058		497,777						
	財源	受益者負担分		16 千円		1,759		1,504		1,516		1,551		1,985		1,564					
		国からの補助金等		17 千円		0		0		0		0		0		0					
		都からの補助金等		18 千円		0		0		0		0		0		0					
その他の補助金等		19 千円		0		0		0		0		0		0							
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円		1,759		1,504		1,516		1,551		1,985		1,564							
差引：一般財源(14-20)		21 千円		91,123		91,551		91,369		87,146		86,605		87,538							
受益者負担比率(16÷14)		22 %		1.9		1.6		1.6		1.7		2.2		1.8							

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	443
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		安全パトロール業務委託	1,226	台	46,687
		花咲かせ隊支援	130	団体	9,266
		すぎなみ公園育て組支援	42	団体	1,049
		犬のしつけ方教室開催	4	回	480
		その他（柏の宮公園学習室運営ほか）			1,330
(2) 事業実績	<p>平成26年度中にはすぎなみ公園育て組が1減、花咲かせ隊は5増1減で、それぞれ42団体と130団体となりました。これらの団体には資器材の支援とともに、講座や交流会を開催し情報提供と情報の共有を図り、区民と協働してより良い公園の維持管理を推進しました。夜間の公園安全パトロールは年間を通して実施し、要望、苦情に対し迅速な対応を実施しました。また、不正利用によるトラブルの事前予防を図るとともに、公園利用に関するさまざまな情報を収集し、公園での問題解決に努めました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成12年度から始まった「花咲かせ隊」、16年度から始まった「すぎなみ公園育て組」ともに知名度が上がり、参加団体数は着実に増えています。しかし、人手が集まらないことや高齢のため活動が維持できないとの理由で脱退する団体もあり、平成26年度にも脱退する団体がありました。公園の夜間安全パトロールについて指導の依頼は多く、平成22年度から夏場は3台から1台増やし4台体制でパトロールを行っています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>公園の夜間安全パトロールの実施により、夜間の迷惑行為に対し、迅速に具体的な対応がとれるようになりました。このため夜間の苦情要望について、区民から一定の評価をいただいています。花咲かせ隊、すぎなみ公園育て組の活動についても、公園の手入れや、美しい花壇に感謝の言葉をいただいています。一方で支援の内容に関する要望も増えています。</p>			
	今後の予測	<p>「すぎなみ公園育て組」「花咲かせ隊」のいずれも15年以上活動している団体もあり、構成員の高齢化が進み継続的な活動が難しい状況の団体が増えてくるとみられます。一方で、活動参加を希望する団体に対し活動場所の重複などの課題も発生します。都市における生活スタイルがますます多様化し、公園利用に関してもこれまでにない新たな問題が発生する可能性があります。近年では Dengue 熱を媒介する蚊の発生やドローンの使用など公園利用者を危険にさらす事例もあります。</p>			
評価と課題	<p>「すぎなみ公園育て組」「花咲かせ隊」ともに活動の場も広がり、公園維持管理における区民との協働の取り組みとして地域コミュニティの醸成にも大きな成果をあげています。公園への関心も高まり多くの人の目が公園に向けられる一方で、早朝夜間の公園利用や、犬の放し飼い、騒音などの迷惑利用も増加しており、安全安心なまちを支えていく上で欠くことのできない事業となっています。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	対象の見直し		
今後の進め方	<p>安全パトロールは、危機管理室を中心に365日終日区内を巡回し地域の安全を守っています。特にみどり公園課では、深夜・早朝の区立公園や公共施設などにおける不法行為や不適正利用への指導啓発を行っています。また公園内の球戯場門扉の朝夕鍵の開閉業務も行っており、今後も区民の様々な意見要望に対応し、公園と地域の安全安心を確保していくため必要な事業です。これからも、公園の迷惑利用に速やかに対応する効率的な巡回に取り組んでいきますが、生活様式の多様化により深夜、早朝の迷惑利用に対する指導や防犯に対する要望が増加していくと考えられます。活動中のボランティア団体については、世代交代が進み、発足当初に比べ活動レベルの低下や団体数の減少がみられます。今後は、各ボランティアの活動状況をきめ細かく把握し、区との役割分担を明確にし、活動が楽しく継続的に続けられよう適切な支援を行います。ボランティア団体と良質な協力関係を保ち、美しい公園の維持に努めます。</p>				

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00425）

事務事業名称		遊び場の維持管理				款	05	項	04	目	01	事業	003	整理番号	444	
現担当課名		みどり公園課		係名	公園整備係			連絡先電話番号	3583		昨年度整理番号	425				
上位施策No・施策名										08 水とみどりのネットワークの形成		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	昭和46年度														
	平成26年度担当課名	みどり公園課				事業評価区分	施設維持管理									
	対象	区立遊び場（16所） 遊び場利用者				根拠法令等	(1)		杉並区遊び場等の設置及び管理に関する要綱							
							(2)		先行取得用地の活用と管理について							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	区民が安全で快適に利用できる遊び場にする。				活動指標	指標名（1）		遊び場管理面積							
						指標説明		区民要望件数								
					指標名（2）	指標説明										
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	公園の先行取得用地や、他の公共団体や地主の好意による提供用地を活用した遊び場の整備を行う。施設の保守点検・補修、園地清掃、樹木管理等の遊び場維持管理を行う。				成果指標	指標名（1）										
						指標説明										
					指標名（2）	指標説明										
						指標説明										
区分	単位	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度							
		実績	計画	実績	計画	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標（1）	1	m <sup>2</sup>	135,827	135,827	138,697	138,697	146,857	146,857	105.9						
	活動指標（2）	2	件	54	0	58	0	61	0	0.0						
	成果指標（1）	3														
	成果指標（2）	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	41,432	57,185	46,904	74,991	65,760	60,882	平成26年度 予算執行率(%)	87.7					
	（内）投資的経費等	6	千円	900	2,124	1,652	1,705	1,682	2,300	特記事項						
	（内）委託費	7	千円	38,321	48,629	40,997	66,270	61,172	50,970	・遊び場106番の光熱水費について、電気温水器の利用がなかったため、予算執行残となっています。						
	職員数	常勤職員数	8	人	3.42	3.30	3.30	3.10	3.15	3.10	・平成26年度に遊び場108番（面積6,071.69㎡）及び遊び場109番（面積2,088.17㎡）を追加しました。					
		再任用職員数	9	人	0.70	0.60	0.60	0.80	0.80	0.50	・受益者負担分（106番光熱水費負担金）の修正をしました。					
		非常勤職員数	10	人	0.10	0.40	0.40	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	29,754	28,479	28,479	27,311	27,752	27,311						
		再任用職員分	12	千円	2,751	2,316	2,316	3,240	3,240	2,025						
		非常勤職員分	13	千円	275	1,112	1,112	0	0	0						
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	74,212	89,092	78,811	105,542	96,752	90,218							
	単位あたりコスト (14-6)÷1	15	円	540	640	556	749	647	599							
	財源	受益者負担分	16	千円	35	58	78	45	65	30						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	35	58	78	45	65	30							
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	74,177	89,034	78,733	105,497	96,687	90,188							
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0								

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	444
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		(仮称)下高井戸公園（遊び場106番）の清掃、除草、管理委託等	43,820	m <sup>2</sup>	21,411
		遊び場102番（旧NHKグラウンド）の清掃、除草、剪定、管理委託等	79,543	m <sup>2</sup>	17,354
		他の遊び場の樹木管理、除草等	23,494	m <sup>2</sup>	9,845
		他の遊び場の清掃業務委託	23,494	m <sup>2</sup>	3,268
		その他（他の遊び場の管理運営費、維持補修ほか）			13,882
	(2) 事業実績	平成26年度は新たに遊び場108番（6,071.69m <sup>2</sup> ）、遊び場109番（2,088.17m <sup>2</sup> ）を追加し、合計18箇所の遊び場の清掃、除草、管理委託等を行いました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
	評価と課題	遊び場は、区立公園が不足している地域の補完的役割を担っており、今後も貴重なオープンスペースとして有効利用していきます。 遊び場102番（旧NHKグラウンド、旧印刷局グラウンド）については、平成27年2月にNHKグラウンドを東京都が取得し、平成27年度より都市計画高井戸公園の整備事業が着手されるため、平成27年5月29日付で閉鎖となります。なお、都市計画公園事業については、今後も東京都から情報収集を行い、情報の共有に努めていきます。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
		II 事業の改善の方向性			
	今後の進め方				



# 平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00426）

事務事業名称		公園等の整備				款	05	項	04	目	01	事業	004	整理番号	445										
現担当課名		みどり公園課		係名		公園整備係		連絡先電話番号		3583		昨年度整理番号		426											
上位施策No・施策名										08 水とみどりのネットワークの形成		予算事業区分				投資事業									
事務事業の概要	事業開始		平成24年度		実行計画事業		目標		03		施策		08		計画事業		04		06		主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
	平成26年度担当課名		みどり公園課																		事業評価区分		一般		
	対象		区立公園 公園利用者		根拠法令等		(1)		都市公園法		(2)		地方自治法第281条												
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		公園の整備により、区民がみどりの中で憩い、ふれあうことができる。また、地域の防災性が向上して区民が安全・安心に生活できる。		活動指標		指標名（1）		当該年度に新設、拡張整備した公園数		指標説明		当該年度に整備した公園面積												
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		公園の新設及び拡張整備する。 区民一人当たりの都・区立公園面積5㎡を目標に公園を整備する。		成果指標		指標名（1）		区民一人当たりの都区立公園面積		指標説明		公園・緑地等面積÷人口		指標名（2）		区立公園の面積		指標説明						
区分		単位		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成26年度													
				実績		計画		計画 (目標値)		実績		対計画比(%)													
指標	活動指標（1）		1 園		3 7		6		3 2		2		66.7												
	活動指標（2）		2 ㎡		810 6,568		4,971		4,390 2,089		6,990		47.6												
	成果指標（1）		3 ㎡/人		2.07 2.10		2.06		2.10 2.05		2.08		97.6												
	成果指標（2）		4 ㎡		607,487 613,850		612,458		616,875 614,462		621,452		99.6												
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円		6,036,184 3,333,973		3,305,790		162,372 158,245		1,906,424		平成26年度 予算執行率(%)		97.5										
	(内) 投資的経費等		6 千円		6,032,691 3,295,142		3,267,779		111,000 113,364		1,864,528		特記事項												
	(内) 委託費		7 千円		54,397 110,214		103,444		162,222 158,100		574,334		・平成27年度は、(仮称)成田西三丁目農業公園の用地取得費(約13億円)と(仮称)下高井戸公園の第一期造成工事費(約3億円)が見込まれています。												
	職員数	常勤職員数		8 人		2.35 5.50		6.47		5.50 6.60		5.70		・平成26年度に開園を予定していた(仮称)荻外荘公園は、暫定開放としたため実績数値には含んでいません。											
		再任用職員数		9 人		0.00 0.00		0.00		0.00 0.00		0.00													
		非常勤職員数		10 人		0.00 0.00		0.00		0.00 0.00		0.00													
	人件費	常勤職員分		11 千円		20,445 47,465		55,836		48,455 58,146		50,217													
		再任用職員分		12 千円		0 0		0		0 0		0													
		非常勤職員分		13 千円		0 0		0		0 0		0													
	総事業費		14 千円		6,056,629 3,381,438		3,361,626		210,827 216,391		1,956,641														
	単位あたりコスト		15 円		7,979,333 12,328,000		15,641,167		33,275,667 51,513,500		46,056,500														
	財源	受益者負担分		16 千円		0 0		0		0 0		0													
		国からの補助金等		17 千円		976,000 1,266,400		1,264,217		12,400 2,050		539,000													
都からの補助金等		18 千円		0 0		0		0 0		0															
その他の補助金等		19 千円		0 0		0		0 0		0															
特定財源計		20 千円		976,000 1,266,400		1,264,217		12,400 2,050		539,000															
差引：一般財源		21 千円		5,080,629 2,115,038		2,097,409		198,427 214,341		1,417,641															
受益者負担比率		22 %		0.0 0.0		0.0		0.0 0.0		0.0															

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

			整理番号	445	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		(仮称)下高井戸公園実施設計業務委託			
		(仮称)荻外荘公園第一期整備工事			68,955
		本天沼南公園拡張整備工事			42,901
		(仮称)成田西三丁目農業公園整備工事設計委託			8,640
		その他（用地測量委託ほか）			14,237
平成26年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>(仮称)下高井戸公園は平成26年7月に基本計画を策定し、本整備に向けた実施設計を行いました。</p> <p>。(仮称)荻外荘公園用地の南側部分を整備し、平成27年3月に暫定開放したほか、本天沼南公園の拡張整備を行いました。</p> <p>また、(仮称)成田西三丁目農業公園は平成27年度の整備に向けて、基本計画及び実施設計を行いました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>用地取得に多大な経費がかかるようになっていきます。</p> <p>みどりを残すこと、また地域の防災機能を向上させるため、公園として整備して欲しいという機運が高まっています。</p> <p>(仮称)下高井戸公園が整備されることにより、方南和泉地区に地域公園が整備され、杉並区7地域全てに地域公園が整備されることとなります。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>空き地や駐車場、貴重なみどりが残る民有地等を公園として整備してほしいという要望があります。</p> <p>。取得した公園用地を早く公園にして欲しいという要望があります。</p>			
	今後の予測	<p>震災の経験等による防災意識の向上やオープンスペースの重要性などから、公園の必要性が高まっています。</p> <p>目標とする一人当たり公園面積5㎡の確保が、一層望まれます。</p> <p>企業グラウンドや社宅の処分、公共施設の再配置などにより比較的大きな土地が公園候補地となる可能性があります。</p>			
評価と課題		<p>区立公園の面積は、前年度と比較して2,003.83㎡の増となり着実に増加していますが、区民一人当たりの公園面積は、人口増加もあり、23区中では20番目となっており、いまだ低い状況にあります。</p> <p>少子高齢化の進行に伴い、公園利用者は従前よりも多世代に及んでいるため、区民ニーズに即した公園整備が求められています。</p> <p>。今後は、地域の特性にあった公園配置と、特徴ある公園の整備促進が必要になると認識し、時代の変化を捉えた公園づくりについて検討を進め、平成27年度から乳幼児が安心してのびのび遊ぶことのできる「(仮称)すくすくひろば」の整備に着手します。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	<p>・既存公園の整備状況に基づき、重点的に整備が必要な公園配置を検討し、民間のみどりと併せて区内全体がみどりでつながった住宅都市づくりを目指していきます。</p> <p>・(仮称)下高井戸公園のような地域公園をバランス良く配置し、区全体の防災性の向上を図るため企業グラウンドや公共施設など、まとまりのある土地に注視して事業に取り組んでいきます。</p>			

# 平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00427)

事務事業名称		公園のリニューアル			款	05	項	04	目	01	事業	005	整理番号	446	
現担当課名		みどり公園課			係名	公園整備係			連絡先電話番号	3583		昨年度整理番号	427		
上位施策No・施策名										08 水とみどりのネットワークの形成		予算事業区分	投資事業		
事務事業の概要	事業開始	平成24年度													
	平成26年度担当課名	みどり公園課			事業評価区分	一般									
	対象	区立公園 公園利用者			根拠法令等	(1)		都市公園法							
						(2)		地方自治法第281条							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	公園のリニューアルにより、区民が一層、安全で快適に公園を利用することができる。			活動指標	指標名(1)		平成24年度からの全面・部分改修公園数							
					指標名(2)										
					指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	既設公園の全面或部分改修を行い、魅力ある公園に再整備する。 老朽化した遊具などの施設を改修する。			成果指標	指標名(1)		「公園や広場」が良いと思っている人の割合								
					指標名(2)		区民意向調査による								
					指標説明										
					指標説明										
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	園	0	2	2	0	0	1	0.0					
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3	%	75.6	80	75.8	80	77.8	80	97.3					
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	31,440	62,986	62,589	58,971	53,256	69,453	平成26年度 予算執行率(%)	90.3				
	(内)投資的経費等	6	千円	30,405	58,513	58,165	54,200	49,186	69,314	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	31,403	62,848	62,467	58,832	53,118	69,314						
	職員数	常勤職員数	8	人	1.60	1.80	2.50	1.85	2.25	1.80					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.10	0.10	0.20	0.20	0.20					
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円	13,920	15,534	21,575	16,299	19,823	15,858					
		再任用職員分	12	千円	0	386	386	810	810	810					
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	45,360	78,906	84,550	76,080	73,889	86,121						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	0	10,196,500	13,192,500	0	0	16,807,000						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	6,480	3,317	0	0	2,000					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	6,480	3,317	0	0	2,000						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	45,360	72,426	81,233	76,080	73,889	84,121						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	446
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		方南公園部分改修工事設計委託			
		高円寺北二公園球戯場改修工事	1	か所	17,726
		遊具等改修工事（北）			6,998
		梅里中央公園複合遊具改修工事	1	基	4,860
		その他（井草森公園管理事務所無停電電源装置取換工事ほか）			20,108
	(2) 事業実績	方南公園は平成27年度の改修工事に向け、設計を行いました。高円寺北二公園の球戯場改修など、老朽化した公園施設の改修を行いました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	現在300を越える区立公園のうち、約3分の1が1970年代に開園しており、球戯場や木製遊具などが老朽化してきています。公園周辺の宅地化が進み、球戯場などの騒音対策などの必要性が高まっています。少子高齢化により、公園利用者の対象がこどもからお年寄りまで幅広くなってきています。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	高齢者が利用できる遊具や施設を望む声が増えてきています。花木の植栽などで特色づけした公園が好評で、花の時期には多くの問い合わせがあります。球戯場は、利用面での課題もありますが、利用者からは施設の継続を希望する声が聞かれます。			
	今後の予測	開園から30年間、大規模な改修が行われていない公園が全体の約3分の1もあり、公園の老朽化と安全性の低下が懸念されます。更なる少子高齢化が進む中で公園に対するニーズと利用者層の多様化が一層進むことにより、施設の更新やバリアフリー化など、公園の安全性・利便性の向上が求められます。			
	評価と課題	少子高齢化に伴い公園に対するニーズの多様化が進んでおり、改修にあたっては健康遊具等の高齢者向け施設の設置を考えていく必要があります。また、設置してから時間の経つ遊具は最新の安全基準を満たしていないものも多く、改修を進め利用者の安全を確保していくことが課題となっています。球戯場は設置から30年ほど経過しているものが多くあり、引き続き建替えや部分改修を進めていく必要があります。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の安全性確保とニーズに応えると共に、既存公園の再生と有効活用を図るため、施設の更新やバリアフリー対策といった改修を計画的に進めていきます。</li> <li>・公園施設の機能保全とライフサイクルコストの縮減を目的とした「公園施設長寿命化計画」の策定に着手します。始めに公園施設の中でも特に安全性が求められる遊具について、平成27年度に点検調査を行い、その後計画策定に取り組んでいきます。</li> </ul>			



# 平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	447
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		みどりの新聞等印刷物の発行	38,800	部	2,039
		みどりの相談所専門相談員報酬	2	名	1,339
		みどりのベルトづくり委託等	2	件	967
		杉並区みどりの顕彰制度「みどりの活動賞」実施			498
		その他（杉並区緑地保全方針の策定、みどりの講座の開催 ほか）			2,849
平成26年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>屋敷林と農地の保全方針として平成26年9月に「杉並区緑地保全方針」を策定し、その中で杉並らしいみどりの保全地区10か所を定め、重点的に民有地のみどりの保全に取り組んでいくこととしました。杉並区みどりの顕彰「みどりの活動賞」を実施し、14団体を選定しました。みどりのベルトづくりでは、新たな候補地区の指定・推進を見据えた検討を実施するとともに、平成25年度にモデル事業を終了した高円寺地区の住民等に対して、引き続き緑化活動への支援などを実施しました。みどりの新聞35,000部、小学校5年生にみどりの副読本3,800部を配布しました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>区内の緑の状況は、緑被率が昭和47年より平成9年まで減少を続けてきましたが、平成14年以降、19年、24年と増加しており、概ね減少傾向に歯止めが掛かっています。                      一方で、後世に継承すべき生産緑地や屋敷林などは減少しています。                      【緑被率推移】 24.02%(S47)、 21.56%(S52)、 20.84%(S57)、 19.90%(S62)、 18.97%(H4)、 17.59%(H9)、 20.91%(H14)、 21.84%(H19)、 22.17%(H24)</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>区民の緑化意識の高まりを反映して、印刷物や講座に対する関心は高く、要望や投稿などがあります。また、みどりのボランティアの活動が多くの区民に支持され、感謝されています。平成26年度に実施した杉並区みどりの顕彰制度「みどりの活動賞」の募集において、緑化活動への熱心な意見もありました。新緑などへは好意的な意見が多い半面、樹木の落ち葉や日照の件について、適正管理の要望も多く寄せられました。</p>			
	今後の予測	<p>区民のみどりに関する意識は様々で、とても高い関心を示す方とそうでない方に大きく分かれており、生活の多様化などもあり、みどりへの関心の差は広がっていくと考えられます。</p>			
評価と課題		<p>これまでのみどりの普及啓発によって樹木・樹林の保全要望が寄せられたり、魅力的な緑化をしている住宅が増加するなど、区民のみどりへの関心が高まっています。しかし、みどりに興味を持ってもらうために紙面や講座だけではなく、今後は、幅広い方が参加できるような体験事業等の企画実施を進めていきます。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
今後の進め方	<p>農地や屋敷林等、区内のみどりの約7割は民有地のみどりですが、これらのみどりがもたらす様々な恩恵は等しく区民に還元されており、地域全体の公共的資産ととらえることも必要です。この意味でみどりの保全への取組は、関心があるものだけが行うのではなく、利益を享受する社会全体が支えていくべきものと言えます。今後は、樹林地等の民有地のみどりを、行政、区民、NPO、企業等が協働することで、できる限り維持してもらった仕組みを育て、保全に努めていきます。あわせて、相続の発生等、不測の事態により所有者が維持できなくなった場合も、できる限り行政が対応していく仕組みを検討していきます。今あるみどりを減らさないこと、みどり環境を意識した普及啓発を継続して実施し、みどりを増やす努力をすること、杉並のみどりをよく知ることなどを念頭に置き、緑被率25%を目指します。</p>				

# 平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00429)

事務事業名称			みどりを創る				款	05	項	04	目	02	事業	002	整理番号	448	
現担当課名			みどり公園課				係名		みどりの事業係				連絡先電話番号	3595	昨年度整理番号	429	
上位施策No・施策名											08 水とみどりのネットワークの形成		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	昭和48年度	実行計画事業 目標 03 施策 08 計画事業 03														
	平成26年度担当課名	みどり公園課										事業評価区分	一般				
	対象	緑化の助成(個人、事業者)緑化計画(個人、事業者)公共施設の樹木管理(区立学校、区立施設)寄付樹木(個人、事業者)				根拠法令等	(1)	杉並区みどりの条例、杉並区みどりの条例施行規則									
							(2)	杉並区接道部緑化助成要綱									
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	道路に接した部分を緑化したり、建物の屋上や壁をみどりで覆うことにより、安全でみどり豊かなまちなみ環境を創る。緑化計画書で一定基準のみどりを設けてもらうことで、まち全体の緑地を確保する。				活動指標	接道部緑化助成延長(350m)										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	個人の建物の屋上・壁面に緑化をするときや、道路に接した部分に生けがきなどを作るときの費用の一部を助成する。区内で開発・建築行為等を行う業者と区民に緑化計画書を提出(接道部緑化、緑地の確保、高木中木低木の本数の確保)するよう義務付け指導する。				指標名(1)	接道部緑化助成延長(350m)											
					指標説明	緑化計画の受理件数(1,800件)											
					指標名(2)	接道部緑化助成率											
				指標説明	整備延長÷整備計画延長												
				成果指標	計画緑地面積達成率												
				指標名(1)	計画緑地面積÷基準緑地面積												
				指標説明	計画緑地面積÷基準緑地面積												
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度	対計画比(%)							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画									
指標	活動指標(1)	1	m	542	350	233	350	498	350		142.3						
	活動指標(2)	2	件	1,904	1,800	2,032	1,800	1,873	1,800		104.1						
	成果指標(1)	3	%	155	100	67	100	142	100	142.0							
	成果指標(2)	4	%	193	100	154	100	150	100	150.0							
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	82,695	82,815	79,683	98,717	96,658	99,821	平成26年度予算執行率(%)	97.9						
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	1,912	1,188	0	特記事項							
	(内)委託費	7	千円	74,091	73,541	73,440	89,489	88,600	90,623	・平成27年度事業費は区立施設の緑化推進工事は無いものの、労務単価上昇による委託料の増加の影響で増加しています。							
	職員数	常勤職員数	8	人	6.55	5.80	5.92	5.65	5.88	5.50	・活動指標(2)と成果指標(2)は従来の指標(学校接道部緑化の実施校数)では実績の無い年が生じてしまうため、平成25年度より変更しています。						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.60	0.60	0.70	0.70	0.70	・成果指標(2)の実績及び実績及び達成率は100%が最低となります。						
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50							
	人件費	常勤職員分	11	千円	56,985	50,054	51,090	49,777	51,803	48,455							
		再任用職員分	12	千円	0	2,316	2,316	2,835	2,835	2,835							
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	1,415							
	総事業費(5+11+12+13)			千円	139,680	135,185	133,089	151,329	151,296	152,526							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)			円	257,712	386,243	571,197	426,906	301,422	435,789							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0							
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0								
差引:一般財源(14-20)		21	千円	139,680	135,185	133,089	151,329	151,296	152,526								
受益者負担比率(16÷14)			%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	448	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		緑化計画の指導・受理	1,873	件	113	
		屋上・壁面緑化助成	238	m <sup>2</sup>	3,275	
		寄付樹木の受領	21	件	1,816	
		公共施設の樹木維持管理委託	247	所	84,234	
		その他（接道部緑化助成・苗木の育成委託・みどりのリサイクルほか）				7,220
(2) 事業実績	緑化計画書の提出1,873件の内訳（200m <sup>2</sup> 以上668件、200m <sup>2</sup> 未満1,205件） 緑化計画による計画接道部緑化延長6,482.2m（全接道延長の38.2%）、計画緑地面積51,167.4m <sup>2</sup> 、 計画樹木本数68,153本 寄付樹木受領本数102本 区立施設の緑化推進1か所					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	接道部緑化助成制度は昭和53年度から緑化推進モデル地区内で始まり、昭和60年度に区内全域へ拡大しました。平成12年度には塀の撤去も含め現在の助成制度の体系になっています。屋上・壁面緑化助成については平成14年10月から始まり、平成18年度に一部改正しています。平成24年度は、助成制度全体について改正し運用しました。ここ数年はPRの有無が成果を左右しています。緑化計画は年々申請件数が増加していましたが、平成26年度は消費税増税の影響が件数が減少しました。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	接道部緑化助成については、未後退の2項道路の場合後退が条件となるため、苦情をいただくこともあります。屋上緑化助成については建物の構造上の安全性が求められるため、対象から外れ残念がられることもあります。緑化計画に関しては、大規模の案件では、別の基準を持つ都と区双方にどちらの基準も満たす計画を提出する必要があるため、時に苦情をいただきます。また、寄付樹木に関しては、リスクの大きな大木の移植や、移植完了時期等の条件が折り合わず、止むを得ずお断りする場合、不満の声も聞かれます。				
	今後の予測	東日本大震災を受けて塀を生けがきに改修する需要はひと段落した一方、屋上緑化はヒートアイランド対策等で需要の増加が想定されます。ただ、屋上緑化は個人で気軽にできるものではないため、企業等の大規模建築物での申請の有無が実績を左右します。土地の細分化が進み接道部緑化余力地が減少する中で、接道部緑化助成、緑化計画共に、少ない接道部で効果的な演出が可能、草本と木本が混在する植込み型の緑化が増加していくと思われまます。				
評価と課題	みどりの実態調査によると、緑被率・接道部緑化延長・屋上緑化面積は共に増加しており、新たなみどりは増えています。特に敷地面積に制限を設けず、建物の用途や用途地域に応じ、きめ細かな指導を行う現在の緑化計画制度は、費用対効果の面でも有効な制度です。 一方、建築確認申請総数に対する計画書、完了届の提出率はまだ改善の余地があります。また、高齢者施設や保育施設等で、菜園を作りたいが完了時は緑化されていないため緑地面積に含められないプライバシーの関係で外周を塀にしたいため接道部緑化が困難など、多様化する諸条件への対応も課題であり、制度の改善に努めてまいります。					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
	今後の進め方	敷地面積に関わらず全ての建築確認行為を対象とする杉並区独自の緑化計画制度は、有効に機能していますが、緑化計画、完了届の提出率には伸び代が見込めるため、勧奨やPR等を実施し改善に努めます。緑化助成制度も含め、環境やニーズの変化を的確に捉え、より有効な手法を常に検討していきます。				



# 平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00430）

事務事業名称		みどりを守る				款	05	項	04	目	02	事業	003	整理番号	449
現担当課名		みどり公園課		係名		みどりの事業係		連絡先電話番号		3595		昨年度整理番号		430	
上位施策No・施策名										08 水とみどりのネットワークの形成		予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始		昭和48年度		実行計画事業		目標 03		施策 08		計画事業 02		主要事業（区政経営報告書掲載事業）		
	平成26年度担当課名		みどり公園課										事業評価区分 一般		
	対象		保護樹木等の補助：個人、事業者				根拠法令等		(1)		杉並区みどりの条例				
									(2)		杉並区みどりの条例施行規則				
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		大きな樹木や樹林を所有者の同意のもと指定し保護していく。特に未来に残したい巨木や珍木については貴重木として指定し手厚く保全する。				活動指標		指標名（1）		貴重木指定本数				
								指標説明		保護樹木指定本数					
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		一定基準以上の樹木、樹林、生けがきについて、所有者の申し出により保護指定を行い、倒木事故等に対応する損害保険の加入、所有者の維持管理費の負担軽減のための補助金交付を行い、みどりの保護に努める。				成果指標		指標名（1）		貴重木保全率					
								指標説明		貴重木指定本数 ÷ 貴重木保全計画本数					
								指標名（2）		保護樹木継続率					
								指標説明		今年度樹木数 ÷ 前年度樹木本数					
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度						
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）						
指標	活動指標（1）		1	本	40	100	39	100	58	100	58.0				
	活動指標（2）		2	本	1,724	1,900	1,624	1,900	1,584	1,800	83.4				
	成果指標（1）		3	%	80	100	39	100	58	100	58.0				
	成果指標（2）		4	%	99	100	94	100	98	100	98.0				
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	43,304	75,528	65,757	773,238	761,660	54,515	平成26年度予算執行率(%) 98.5				
	（内）投資的経費等		6	千円	282	21,913	21,901	716,481	713,906	300	特記事項				
	（内）委託費		7	千円	7,949	33,651	30,603	27,381	20,806	15,520	平成25年度と平成26年度は、それぞれ市民緑地の整備工事、和田堀特別緑地保全地区の用地取得と暫定工事により事業費が増加しています。				
	職員数	常勤職員数		8	人	4.91	3.90	4.30	3.90	4.10	4.10				
		再任用職員数		9	人	0.70	1.10	1.10	1.10	1.10	0.90				
		非常勤職員数		10	人	0.10	0.42	0.42	0.00	0.00	0.50				
	人件費	常勤職員分		11	千円	42,717	33,657	37,109	34,359	36,121	36,121				
		再任用職員分		12	千円	2,751	4,246	4,246	4,455	4,455	3,645				
		非常勤職員分		13	千円	275	1,168	1,168	0	0	1,415				
	総事業費（5+11+12+13）		14	千円	89,047	114,599	108,280	812,052	802,236	95,696					
	単位あたりコスト（(14-6)÷1）		15	円	2,219,125	926,860	2,214,846	955,710	1,522,931	953,960					
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	131,900	131,900	0				
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	287,000	287,000	0				
その他の補助金等		19	千円	7,762	0	7,470	0	7,466	0						
特定財源計（16+17+18+19）		20	千円	7,762	0	7,470	418,900	426,366	0						
差引：一般財源（14-20）		21	千円	81,285	114,599	100,810	393,152	375,870	95,696						
受益者負担比率（16÷14）		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	449
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		樹木・樹林・生けがき・貴重木の保護指定補助	670	件	34,080
		区営苗圃の維持管理	3,816	m <sup>2</sup>	7,095
		市民緑地の維持管理	3	所	3,339
		生き物生息場所の保全	3	所	1,298
		その他（特別緑地保全地区の保全）			715,848
(2) 事業実績	平成27年3月31日現在、区内の保護指定は、保護樹木1,584本、保護樹林448,249.51m <sup>2</sup> 、保護生けがき6,408.80m、貴重木58本（うち公共10本）となっています。貴重木については平成26年度から新たに公共施設についても指定を開始しました。そのほか区営苗圃3箇所3,816m <sup>2</sup> 、市民緑地3箇所3,872.33m <sup>2</sup> があります。平成26年度は和田堀特別緑地保全地区の一部用地を取得し、供用に向けた安全対策の暫定工事を行いました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	保護指定制度はみどりの条例ができた当初から柱となる制度で、今あるみどりを指定することで未来にわたり残す制度です。保護樹木と保護生けがきは新規指定もあるものの減少傾向にあります。保護樹林は新規指定を実施した他、工事に伴い一時的に全面解除した樹林の再指定もあり増加しました。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	保護樹木等の存在は、多くの方に恩恵を与える反面、近隣住民には日照・落葉による雨どいの詰まり・落葉掃除など迷惑な面もあり、保護樹木等の所有者の維持管理や対応に不満がある場合、区は苦情をいただきます。樹木の維持管理は所有者の責務ですが、必要な維持管理経費に対して区の補助金が少額なため、補助金の増額や制度の見直しの意見も寄せられます。高齢化に伴い落葉清掃等の日常管理が負担になって存続が困難との話も聞かれます。			
	今後の予測	相続等により敷地の細分化が進行するため、個人所有の古くからの屋敷林等の樹林は減少が予想されます。大きな樹木も敷地の細分化や宅地化による近隣関係の悪化や高齢化による維持管理面の困難等により同様に減少傾向が進むと思われます。一方で、マンション等の集合住宅ではまとまった新たなみどりが形成されたり、屋上緑化の増加や草を含め多様な植物を混植する植え込みの増加など、みどりの質が変化していく傾向が進むと思われます。			
評価と課題	保護指定制度は、維持管理費に対する補助、損害賠償責任保険への加入、看板設置によるPRにより樹木の保全や普及啓発に一定の成果を上げています。一方、補助金額は実際に必要な維持管理費用に対して少額で、増額要望や支援方法の見直し等の意見も寄せられており、継続して制度の検討を進めます。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
今後の進め方	保護樹木・樹林・生けがきについては有効な支援手法を検討します。貴重木については追加指定を進め保全に努めると共に普及啓発にも役立てます。また、平成26年9月に策定した「杉並区緑地保全方針」に基づき、保護指定制度、市民緑地制度、特別緑地保全地区制度、特別樹林制度等、様々な保全制度を活用し、屋敷林をはじめとする貴重なみどりの効果的な保全を進めていきます。				

# 平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00431)

事務事業名称			みどりの基金				款	05	項	04	目	02	事業	004	整理番号	450
現担当課名			みどり公園課				係名			みどりの計画係			連絡先 電話番号	3593	昨年度 整理番号	431
上位施策No・施策名											08 水とみどりのネットワークの形成		予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成14年度	実行計画事業 目標 03 施策 08 計画事業 07													
	平成26年度 担当課名	みどり公園課										事業評価区分		一般		
	対象	基金に寄附を寄せる個人、団体、事業者				根拠 法令等		(1)		杉並区みどりの基金条例						
								(2)		杉並区みどりの基金運営要綱						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	当面、積立額5億円を目標とする。				活動指標		指標名(1)		基金寄附件数						
					指標説明				継続寄附団体等数							
					指標名(2)											
					指標説明											
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	区内のみどりの保全に関する事業の財源に充てるため、区民、事業者及び区が協働して寄附を募る。				成果指標		指標名(1)		年間寄附等総額							
					指標説明											
					指標名(2)				継続寄附団体等による寄附等総額							
					指標説明											
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度							
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1 件	20	50	21	50	30	50	60.0							
	活動指標(2)	2 団体	11	10	10	10	11	10	110.0							
	成果指標(1)	3 千円	830	5,000	2,869	5,000	995	5,000	19.9							
	成果指標(2)	4 千円	481	500	203	500	293	500	58.6							
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	1,013	5,145	2,955	5,066	1,032	5,034	平成26年度 予算執行率(%)	20.4						
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内)委託費	7 千円	0	0	0	0	0	0	みどりの保全や緑化推進のPRイベントを開催し、寄付金をいただきましたが、目標額には至りませんでした。							
	職員数	常勤職員数	8 人	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25							
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
	人件費	常勤職員分	11 千円	2,175	2,158	2,158	2,203	2,203	2,203							
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0							
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	3,188	7,303	5,113	7,269	3,235	7,237								
	単位あたりコスト (14-6)÷1	15 円	159,400	146,060	243,476	145,380	107,833	144,740								
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0							
その他の補助金等		19 千円	183	145	86	66	37	34								
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	183	145	86	66	37	34								
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	3,005	7,158	5,027	7,203	3,198	7,203								
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	450	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		みどりの基金寄附総額		30	件	995
		みどりの基金の利子				37
		その他（ ）				
	(2) 事業実績	<p>みどりのイベント、落ち葉感謝祭でみどりの基金のPRおよび募金活動を行いました。また、みどりの顕彰みどりの活動賞の区民投票時にみどりの基金のPRを行いました。 さらに、協力団体による「みどりの基金キャンペーン」をジャズストリートとタイアップして実施してもらいました。また、地元のお祭りなどで、みどりの基金の寄附を実施してもらいました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	年間の寄附総額が、概ね小額のまま推移しており、基金残高は年々目減りしています。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	寄附した方からの意見としては、保存が必要な樹林地等の購入や、保護指定樹木等を管理するための費用などを望む声が多くあります。一方、寄附しない方の理由としては、寄附をする機会が無い、寄附の仕方がわからないなどの意見があります。				
	今後の予測	杉並区の基金はいろいろな基金が設立されており、寄付は各基金に分散している傾向にありますので、みどりの基金に対して寄附をする個人、団体等を増やさない限り、基金の額は伸び悩むと思われます。				
	評価と課題	みどりの基金も徐々に認知度が上がり寄附を継続していただける個人、団体も増えてきています。一方で何らかの寄附をしたいと思う区民があり、多くの基金の中からみどりの基金を選択していただけるよう効果的なPRを実施していきます。 また、基金の活用として、保護樹林への助成金に一部充当しているため、基金残高は年々目減りしており、寄附金と取崩し金とのバランスを見直していきます。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充			
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）				
今後の進め方	<p>現在、みどりの基金の使い道としては、保護樹林の補助金に充当していますが、区民からは、より具体的に見えるものに基金を充当することや、その運用の透明化を図るなどが指摘されています。 そこで、今後はみどりの保全に関する普及啓発等で具体的、効果的な制度を検討して行きます。 あわせて、より多くの個人、団体から寄附をしていただけるような方策を検討して行きます。</p>					

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00432）

事務事業名称		公衆便所の維持管理			款	05	項	04	目	03	事業	001	整理番号	451
現担当課名		みどり公園課			係名	管理係			連絡先電話番号	3572		昨年度整理番号	432	
上位施策No・施策名										08 水とみどりのネットワークの形成		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和28年度												
	平成26年度担当課名	みどり公園課									事業評価区分	施設維持管理		
	対象	区立公衆便所17所			根拠法令等	(1)		杉並区公衆便所条例						
						(2)		地方自治法第2条第3項、281条第2項						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	公衆便所を適切に維持管理し、安全で快適な利用と周辺地域の環境衛生保持を行う。			活動指標	指標名（1）		公衆便所数						
					指標説明		定期清掃回数（年間延べ回数）							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）			指標名（2）	指標説明									
	公衆便所の定期的な清掃、管理及び機能を保持するための維持補修を行う。			成果指標	指標名（1）									
					指標説明									
				指標名（2）	指標説明									
					指標説明									
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度					
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）					
指標	活動指標（1）	1 所	17	17	17	17	17	16	100.0					
	活動指標（2）	2 回	5,853	5,870	5,849	5,764	5,820	5,697	101.0					
	成果指標（1）	3												
	成果指標（2）	4												
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	16,274	17,232	16,211	31,314	28,079	19,378	平成26年度予算執行率（%）	89.7				
	（内）投資的経費等	6 千円	0	0	0	12,840	9,709	0	特記事項					
	（内）委託費	7 千円	12,217	13,126	12,438	27,033	23,883	14,945	平成27年2月1日付、荻窪駅南口通り公衆便所廃止し、解体工事を行ったため、事業費が増加しました。					
	職員数	常勤職員数	8 人	1.70	1.60	1.80	1.65	1.81	1.30					
		再任用職員数	9 人	0.18	0.18	0.18	0.20	0.20	0.20					
		非常勤職員数	10 人	0.02	0.12	0.12	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11 千円	14,790	13,808	15,534	14,537	15,946	11,453					
		再任用職員分	12 千円	707	695	695	810	810	810					
		非常勤職員分	13 千円	55	334	334	0	0	0					
	総事業費	14 千円	31,826	32,069	32,774	46,661	44,835	31,641						
	単位あたりコスト	15 円	1,872,118	1,886,412	1,927,882	1,989,471	2,066,235	1,977,563						
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計		20 千円	0	0	0	0	0	0						
差引：一般財源		21 千円	31,826	32,069	32,774	46,661	44,835	31,641						
受益者負担比率	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	451
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		地域別ブロック方式清掃業務委託	17	所	13,609
		公衆便所の維持補修	17	所	10,895
		公衆便所の光熱水費	17	所	3,181
		公衆便所の管理運営	17	所	279
		その他（公衆便所の樹木管理）			115
	(2) 事業実績	<p>公衆便所維持管理のため、日常清掃、設備の改修及び施設の修繕などを実施しました。          また、荻窪駅南口通り公衆便所については、接道する都市計画道路補助131号線（荻窪駅南口付近～青梅街道間）の歩道拡幅整備に際し、当該公衆便所が歩道の一部を占有し歩行者の通行の支障になることから、平成27年2月1日に廃止し、解体工事を行いました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
	評価と課題	<p>施設が経年劣化していく中で清潔で利用しやすい公衆便所を提供するには、日常の定期清掃や設備の修繕等では限界があり、また、バリアフリー化も課題となっています。今後、限られた予算の中で区民サービスの向上を図るため、施設の老朽度合いやバリアフリー化が急がれる公衆便所を総合的に勘案した上で、計画的に改修を行います。また、日常の維持管理面では、利用者の協力を得るための方策などを検討していきます。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
		II 事業の改善の方向性			
	今後の進め方				